



東中学校だより(5) 令和5年7月25日

莞あかくそびえて建てり

校歌の一節より



佐久市立東中学校 〒385-0007 佐久市新子田 1396-1 Tel. 67-2392 文責: 召田幸司(教頭)

校長先生のお話を踏まえながら70日あまりの一学期を振り返ってみましょう。

校長先生のお話 ～一学期終業式～

「Thank you!」に対して、皆さんはどんな言葉を返しますか? 「You're welcome. (どういたしまして)」。直訳すれば…「あなたを歓迎しますよ」です。そんな私が「Thank you!」に対しての返答で「はっ」とさせられた言葉が「My pleasure! (私の喜び)」です。親から教えてもらったことにつながる言葉でした。

『喜び』といわれたら、皆さんは一体どんなことを思いうかべますか? 幼い子どもであれば、「何かほしい物を買ってもらった」とか「ゲームなど何かやりたいことができた」という喜びを持つことも多いと思います。皆さんぐらになれば、「努力して練習をし、何かができるようになった」とか、「がんばって勉強して、成績がのびた」といったことに喜びを感じる人もいるでしょう。いろいろの喜びがあると思いますが、私の父が伝えてくれる喜びというのは、まさに「My pleasure! (私の喜び)」につながるものでした。父は、昭和の初めに生まれ、激動の時代の中、少年期を過ごしています。戦争時やその直後の貧しい生活の中で、冬の寒い中、山へ薪を拾いに行ったり、苦勞したりしたことを話してくれました。凍えそうな中、そういった苦しいことを支えたのは、「寒かっただろう。ありがとう」といって喜ぶ父の母の姿だったと言います。父の話してくれた喜びは、「何か物を得ることができた」とか、「自分の欲求が達成された」ということではなく、父の母(私の祖母)が喜んでくれることだったのです。そのことこそが、最大の喜びだったと話してくれました。喜びはいろいろな形がありますが、この考え方が私は好きです。自分が何か頑張るときも、誰かが喜んでくれることがとても励みになります。そして「自分が鍛え磨いたものは、誰かのために役立つものだろう」と考えるのです。そういったことに通じる姿が、皆さんの1学期の姿にも多くありましたね。



「思いやり」をもった行為や、みんなのために、「あたりまえのこと」として動く姿もありました。「友達やまわりの人たちが『喜び』を感じてくれることをいきとして、仲間のことに思いやりをもって動く」集大成の姿が、3年生の修学旅行にあったのではないかと感じています。

1年生の高遠での宿泊学習、2年生の職場体験学習も、きっと「友達やまわりの人たちが『喜び』を感じてくれることをいきとして、仲間のことに思いやりをもって動く」集大成の活動になるだろうと思っています。

怪我のない、充実した夏休みにしてください。そして皆さんが笑顔で登校して来るのを楽しみにしています。

お知らせ

<学校リフレッシュ・ウィーク[8/10(木)~8/16(水)]の連絡先>

平日は学校に職員がいますので、何かありましたら東中へ。ただ、学校リフレッシュ・ウィーク期間中は学校に職員が不在となりますので、「事故」等、緊急時の連絡がありましたら以下にご連絡をお願いします。

①佐久市教育委員会 学校教育課 電話 0267-62-3478

[10日(木)・14日(月)・15日(火)・16日(水) 8:30~17:15]

②佐久市役所 宿日直 電話 0267-62-2111

[10日(木)・14日(月)・15日(火)・16日(水)17:15~翌朝8:30]

[11日(金)・12日(土)・13日(日) 終日]